

芦屋市 自治会等アンケート調査結果報告会および
地域のボランティアコーディネーター養成講座後における

『ティータイム交流』報告

平成 24 年 7 月 18 日
あしや市民活動センター

7 月 18 日（水）にあしや市民活動センターで開催した「芦屋市 自治会等アンケート調査報告会および地域のボランティアコーディネーター養成講座（基礎編）」で実施した講座後の『ティータイム交流』には、講座への出席者 34 名（団体数 29）中 24 人が参加した。

ここでは 5 つのグループに分かれ、各グループに主催者側の 5 名（市民生活部 北川部長、市民参画課 福島課長、中島課長補佐、コーディネーター 海土、及び当センター 重政）が加わって自由に意見交換・交流を実施した。

主催者側の参加者からいただいた各グループの交流の内容、感想は下記のとおりである。

1. 全体としての感想

- ・自分のしている活動を体系的に整理できた。
- ・活動のヒントになることもあったので良かった。
- ・実費弁償について他自治会の意見も聞いて良かった。

2. 交流会等で出た個別の意見

- ① 講座全体についてカタカナが多すぎる。基礎編とあったのに理解しにくい。（ニード、ネットワークなど）
- ② ボランティアについての説明がなかった。
→既に参加のみなさんは自治会においてボランティアとして活動なさっている。従ってお話ししなくてもご理解いただいていることを前提でお話したとの説明で納得。（講師）
- ③ 話したこと、レジュメに書いてあることは解るがポジティブなことばかりでネガティブなこと（リスク）もあるはず。
→基礎編なのでネガティブなことから入って意欲をそがれる可能性があるので省いたと説明。（講師）
- ④ 次期リーダーとどのようにして交代したら良いのか教えてもらえると思ってきたがそうでないのか？
→今回は、次期にバトンタッチするための環境整備の方法である。（講師）
- ⑤ 戸数に限りがあり、70 歳以上が 80%を占め高齢者の一人住まいもある。
一人住まいのところは民生委員にお願いしている。身寄りのない人もおり、亡くなった場合など、自治会は関与しない形になっている。
- ⑥ タウンハウスになっていて、マンションや戸建てで構成された自治会より共有の敷地

なども多い。新しく購入して引っ越してくる若い世帯もいる。

- ⑦ 自治会長などは、開発時の業者の提案した順番制になっている。
- ⑧ 自治会長には80歳以上は役目に当たらないようにしている。
- ⑨ 県営・市営住宅の一部にはライフサポートアドバイザーなど、トイレを一日に一回も使わなかったら通報するような仕組みが付いているが我々のタウンハウスにも導入してほしい。
- ⑩ 会長は輪番制の6人の中で互選で決めている。
- ⑪ 実費弁償について紹介しあったグループで、全て無償が1自治会あった他に、交通費は支給している自治会、これらを自治会費ではなく共益費から出している自治会などまちまちであった。

3. 主催者や講師の感想

- ・ 全般的に活発な意見交換だった。
- ・ 何かの方向付けや結論を出す討議ではないので、多くの自治会が非常に活発に意見を述べられた。
- ・ 意見交換会などのグループディスカッションに慣れておられない方もおられたようですが、本当に忌憚のない意見が出ていた。
- ・ 馴染みがなくても「地域のボランティアコーディネーター養成講座」と示して、内容もぶれないで基本に沿って行って良かった。
- ・ 次回の講座も今回の反応を参考にし、基本はコーディネーションスキルのステップアップを少人数のワークで行う予定である。(講座講師)
- ・ 次回役員候補の紹介をいただく機会があった。

以上

